

解説
シート
No.1

ワーク
シート
No.1、11

私たちの
進路
P15~18

主な対象
1年

題材名 夏休みの過ごし方

- ねらい
- ・夏休みの予定や一日の過ごし方をまとめることで、自ら規則正しい生活と行動ができるようにする。
 - ・夏休みを利用して、施設体験や公共交通機関の利用の練習をする。

段階	学習活動	時間	支援及び指導上の留意点
<p>※夏休みの予定については家庭と事前に連絡を取り、部活動や実習当番に参加できる日時と、家族旅行などの予定を確認しておく。また、施設体験や見学、公共交通機関の利用の練習についても、個別面談等で保護者と話を詰めておく。</p>			
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の夏休みの予定を発表する。 	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動や登校日など、全員に共通の予定や個人の予定も含めて、自由に発表できるようにする。 ・共通の予定と個人の予定は区別して板書する。
展開	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休みの予定をワークシートに記入する。(ワークシートNo. 1) ・一日の過ごし方について、どんなことに気を付けて過ごすべきかを考えて、ワークシートに記入する。(ワークシートNo. 11) ・夏休みに頑張りたいことをワークシートに記入する。 	25分	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動や登校日など全員に共通の予定に加えて、事前に調べておいた個人の予定もワークシートに記入するように促す。 ・「〇〇しなければならない」というような押しつけの指導にならないようにする。生徒が「〇〇すればよいのかな」と気付けるような発問をする。 <p><発問例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝は誰かに起こしてもらっていないかな？ ・夜は「早く寝なさい」って言われていないかな？ ・将来、一人暮らしをしたときに、自分で起きることができないとどうなるでしょう？ ・家族の一員として、何か手伝いをしているかな？ <ul style="list-style-type: none"> ・部活動や登校日があることから、夏休み中もいつもと同じ時刻に起床、就寝することで身体のリズムが安定して良いことを説明する。また、卒業後にグループホームや一人暮らしで生活するときには、自分で予定を考えて自分で行動できる力が必要なことを説明する。 ・普段、学校ではできない公共交通機関の利用の練習や福祉サービス事業所の見学体験など、将来に役立つ勉強ができる時間になることを説明する。自分で何をするか分からない生徒には、事前に家庭と連絡しておいた内容を伝える。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休みの予定と頑張りたいことを発表する。 	15分	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が発表した予定と頑張りたいことを実践できるように、生活のリズムを崩さずに過ごし、充実した楽しい夏休みにして欲しいことを伝える。